

令和7年9月吉日

報道関係 各位

## 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 第19回学術大会 OTC 分科会シンポジウム開催（10/11）

我が国は高齢化の進展に伴い、医療提供体制や社会保障制度の持続可能性が問われております。その中で「セルフケア・セルフメディケーション」の推進は、国民一人ひとりの健康維持と医療リソースの最適化のために重要な取り組みと位置づけられております。

昨年に引き続き、日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会内 OTC 医薬品分科会では、セルフメディケーション推進に向けた議論を深め、実効性のある施策を提言するため、下記の通り、シンポジウムを開催することとなりました。

今回のシンポジウムは、報道関係者の皆さんに公開とさせていただきますので、ぜひご参加くださいますようご案内を申し上げます。

ご希望の際は、運営事務局までご一報いただき、当日は名刺をご持参ください。

記

日時 : 2025年10月11日（土） 16:45～18:05 シンポジウム  
18:05～18:25 パネルディスカッション

会場 : いわて県民情報交流センター アイーナ（第一会場）

主な登壇者（予定）

武藤正樹（座長）	OTC 医薬品分科会会长
尾崎治夫（VTR）	公益社団法人東京都医師会会长
佐田政隆	徳島大学大学院循環器内科学分野教授
幸野庄司	健康保険組合連合会参与
岸田直樹	北海道科学大学・東京薬科大学 客員教授
印南一路	慶應義塾大学総合政策学部名誉教授
磯部総一郎	日本 OTC 医薬品協会理事長

高齢者数がピークを迎える 2040 年に向けて、我が国の社会保障制度は大きな局面を迎えます。制度の持続可能性を確保するため、給付と負担の見直し等、社会保障の全体像について国民的な議論が必要です。

そんな中、経済財政運営と改革の基本方針 2025（骨太の方針）が閣議決定され、後発医薬品の安定供給やバイオシミラーの使用促進とあわせ、セルフケア・セルフメディケーション

日本 OTC 医薬品協会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-15 イトーピア岩本町一丁目ビル4階  
TEL (03)5823-4971(代表) FAX (03)5823-4974

## News Release

の促進も明記されました。

特に、当初の医師の診断や処方に基づき症状の安定している患者が定期的に服用する医薬品や、低侵襲性検体である穿刺血を用いる検査薬を含む医薬品・検査薬の更なるスイッチOTC化などにも言及され、セルフメディケーション推進は新たな局面に立ったと言えます。

その背景にあるのは、地域および診療領域における医師の偏在等による病院医療の危機の顕在化や地方の医療インフラの維持の問題、85歳以上高齢者人口の継続的な増加、働き世代の減少、医療技術の進歩によって重篤疾患の治療が進む一方での高額医療費の増加などです。このような社会変化の中で、世界に冠たる我が国の医療提供体制、国民皆保険を守っていくためには、多くの改革を行う必要性を強く感じます。

軽度疾患を国民自身が管理し、限られた医療リソースを重篤な疾患治療に割り当てていくためセルフケア・セルフメディケーションの促進は重要な取り組みです。しかしながら、セルフメディケーションの重要な手段であるOTC医薬品の普及は進んでいるとはいえません。

OTC医薬品分科会としては、今回、症状が長期安定維持できている生活習慣病、自己の症状把握に必要な検査薬、検査機器、感染症治療薬など、社会的需要の高い分野でセルフケア・セルフメディケーションを適切に導入することを達成するための実効性のある施策を提言していきたいと考えます。

従来のセルフメディケーションの概念を超えて、骨太の方針2025を踏まえて「長期間状態が安定している」、「対処に方法が確立されている」、「症状及び服薬の自己管理が可能」な症状までセルフメディケーションの範囲を拡大するためには、様々な施策を講じることが必要と考えますが、検討すべき課題は山積しております。課題を解決し、少しでも前に進めるためには医師、歯科医師、薬剤師、看護師、登録販売者などの医療者が各自の専門性を十分に活かし、認め合い、医療専門家らが共同で我が国の生活者の薬物治療を支えていくことが必要で、これまで進められてきたセルフケア・セルフメディケーションを更に発展させ、医療の受け皿として位置づけていくことが重要であると思っております。また、実行に当たっては、必要な施策をとりまとめたロードマップを作成し進めていくことも必要です。

本シンポジウムでは、実行のための課題を抽出し、具体的な解決策を目指し、建設的な議論をスタートしていきたいと考えております。

報道各社様におかれましては、上述について広く周知をいただけますと幸いでございます。

### ■ 本件に関する問い合わせ等

ご参加いただける際は、以下の運営事務局ご連絡ください。

運営事務局 : E-mail ([jsgsm19@yamada-planning.co.jp](mailto:jsgsm19@yamada-planning.co.jp))

※取材の為の学会参加は無料です。当日はお名刺をお持ちください。

また、何かご不明な点がございましたら、日本OTC医薬品協会(担当橋本)までご連絡ください。

以上

### 日本OTC医薬品協会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-15 イトーピア岩本町一丁目ビル4階

TEL (03) 5823-4971(代表) FAX (03) 5823-4974